

議会だより

令和2年2月定例会版



まだまだ続く復興への道 災害ゴミ処理施設の現状を視察 産業建設委員会

6月定例会市議会の予定	日程	内容
	6月 8日(月)	開会
	6月12日(金)	一般質問
	6月15日(月)	一般質問
	6月16日(火)	一般質問
	6月17日(水)	一般質問・質疑
	6月18日(木)	委員会
	6月19日(金)	委員会
	6月22日(月)	委員会
	6月29日(月)	閉会

※各日午前10時開始予定です。

特集① 産業建設委員会 現地視察報告「災害廃棄物2次仮置場・中間処理施設」… 2ページ

特集② 各種団体との懇談会「そらじゃ若者塾」「総社市PTA連合協議会執行部」… 3ページ

主な内容

2月定例会市議会	4ページ
一般質問	6ページ
委員会活動報告	14ページ
復興に向けて・その軌跡(vol. 6)	16ページ



写真左：約11haの広大な敷地で中間処理施設と仮置場を管理・運営
写真中：処理設備の多くは熊本県から提供された
写真右：現場建物には「とりもどそう活気ある岡山を！」の横断幕が掲げられていた

災害廃棄物2次仮置場・中間処理施設を視察

市議会産業建設委員会は2月27日、倉敷市水島地区で災害廃棄物の保管、分別・処理を行っている施設を視察。処理の進捗状況、廃棄物の選別や破碎といった処理作業を見学しました。

多くのボランティアの方が協力し運び出した水没した家財、家屋の解体やリフォームにより廃棄された家具・家電・木材や瓦礫等の災害廃棄物の処理は、今もなお続いています。

総社市や倉敷市で生じた約32万トンの災害廃棄物は、仮置場で保管された後、中間処理施設で何段階もの選別により土砂を取り除き、可燃物や不燃物、大きさ別等に仕分けされ、リサイクル施設や最終処分場に送られています。これらの処理業務は、県内

の廃棄物処理業者を中心に、熊本地震や東日本大震災で災害廃棄物の処理を経験した業者の14社で行っていて、コンクリートブロックなどを砕く破碎機、比重選別機、風力選別機等は熊本で活躍した設備を移設し使用しています。

昨年2月から稼働している施設の担当者は、「災害廃棄物・災害ごみと呼ばれるものであっても、発災前・浸水する直前までは、被災者の皆さんの大切な家であり、家財であり、想い出の品々であったものを」を合言葉に取り組んでいて、作業の進捗については、「今年6月末の処理完了を目指していたが、作業が順調に進んでいるので早ければ4月末に完了するかもしれない。」との説明を受けました。

(山田雅徳)



重機が休みなく動き1日300トン进行处理する

最終段階は人の手で分別

廃棄物からは生活が垣間見えた

各種団体との懇談会

～ 広聴広報委員会 ～

そうじゃ若者塾との懇談会

(令和元年12月12日開催)

若者の立場で総社を考える「そうじゃ若者塾」の一期生(卒業生)・二期生(現メンバー)7名と、広聴広報委員会7名とで懇談会を開催しました。

それぞれの自己紹介の後に2つのグループに分かれて、「総社の良いところ・悪いところ」、「市議会ってどう?」など様々なテーマでグループワークを行いました。

私のグループでは、「総社にほしいもの」というテーマで、「ふらっとパソコン仕事ができるお店(喫茶店だと長居しづらい)」、「大人の夜遊びができる場所(ビリヤード、ダーツバー等お酒を飲みながら)」、「業種が限られていて、働く場所が少ない」な



それぞれのグループで出た意見を発表し「総社の課題」を共有

どの意見が多く出ました。また、「総社のよいところ」のテーマでは、「暮らしやすい」、「のんびりした空気感漂う駅前が良い」なんて声も。「岡山市や倉敷市のような都会化を目指すのではなく、暮らしやすい総社を。でも、ポテンシャルを秘めている商店街筋や県大周辺は賑わいがほしい」というまとめは、先に意見交換した成人式実行委員会の皆さんと同じ意見で、これからの総社の未来像を考える上で大いに参考となりました。

(山田雅徳)

総社市PTA連合協議会執行部との懇談会

(令和2年2月8日開催)

ご意見として「学校の規模に関わらず役員のなり手不足がある」ことを上げられ、「小規模校の保護者は、地域も含めて何らかの役員をしている。大規模校は、知らない人が多いので、保護者のつながりで声掛けをしており、つながりが薄い人は、役員にならない人が多い。」とのことでした。

中学校の規模による問題として「部活でやりたいスポーツがない子どもは他の中学校へ行く」、「中学校の規模により修学旅行の費用が違う。」とのことでした。

教育特区のことでは「人口減少は止まらない。地域との連携の問題もある。」との指摘がありました。

幼稚園・保育園の問題として「無償化により待機児童が



活発な意見が出された懇談会

もっと増えるのでは。」と心配の声と、それに関連して「学童保育も希望者が定員をオーバーするだろう。そして支援員も足りなくなる。」との声もいただきました。またPTAは任意団体なので、問題は自分達で解決しなければならぬとのご意見もありました。

(岡崎亨一)

学校園の一斉休校決定について 緊急質問を実施

西日本豪雨からの復旧等の当初予算を可決
新型インフルエンザ等対策条例の制定も

2月定例市議会

緊急質問について

萱野哲也議員より一般質問の初日冒頭、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う学校園の一斉休校に対し、経緯・内容など緊急質問がありました。

市長からは、全国市長会の動向を踏まえ市民を守る観点から小中学校だけでなく幼稚園等にも休校要請を行い、緊急の学校園長会で検討、教育長命により一斉休校の決定に至ったと答弁がありました。

また、新型コロナウイルスの対応部署を設置すべきではないかとの質問に対し、新型コロナウイルス感染症対策室を設置するとの答弁があり、3月5日に開設されました。

総社市新型インフルエンザ等

対策条例の制定について

新型インフルエンザ等の感染症拡大が想定される場合、市としてマスク配布や学校対応等に即応することができるとの条例の制定を可決しました。

総社市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の制定について

昨年の本市議会議員による不祥事や市議会議員の職責を考へ、議会への長期欠席の場合に報酬等の減額を規定した条例を議員発議で制定しました。

令和2年度総社市一般会計予算を可決

予算総額274億5千万円は大規模事業の重なった令和元年度予算300億6千万円に比べ26億1千万円の減額となっています。

災害関連としては、西日本豪雨からの復興事業として下原・美袋・草田・秦地区などへの排水対策事業や避難路整備事業に約10億3千万円、災害時の避難所開設準備品の充実や更に分散備蓄を進めるために約300万円、日羽地区では避難所不足の経験から新たな防災拠点整備に対し設計造成費として約1300万円が計上されました。

令和6年度までに完成予定の新庁舎建設事業に関して基本計画等の費用として約1億1500万円が計上され、賛成多数で原案どおり可決しました。

令和2年度総社市一般会計補正予算(第1号)を可決

新型コロナウイルスなどの感染症拡大時に医療機関と連携対応するため、特別外来診療等負担金500万円、中小企業への支援では金融機関での借入時の利子補給及び保証料の支援等、年額最大30万円

までの独自の緊急支援に係る経費が計上され可決しました。

令和元年度総社市一般会計補正予算(第7号)を可決

感染症対策として市民を守るためのマスク20万枚や消毒用アルコール類600リットルなど購入するため約500万円が計上され可決しました。

教育長、教育委員など任期満了に伴う人事案件に同意

5月で任期満了となる山中栄輔教育長の後任の教育長に久山延司氏(岡山市)を、教育委員会委員に大山敬子氏(新本)及び剣持江利奈氏(西郡)の人事提案にそれぞれ同意し、また、固定資産評価審査委員会委員として秋山伸氏(小寺)、片岡俊三氏(秦)、西本憲次氏(岡山市)、三原達朗氏(清音上中島)、横田修氏(刑部)の5名の人事提案に同意し、また人権擁護委員には西谷正己氏(岡谷)の再任の推薦に同意しました。

令和2年2月定例総社市議会 付議事件採決一覧表

番号	件名	結果
報告第1号	地方自治法第180条第1項の規定による専決処分について ※総社市特定環境保全公共下水道美袋浄化センター災害本復旧工事委託変更契約の締結	報告を受けた
報告第2号	地方自治法第180条第1項の規定による専決処分について ※庁用自動車の事故に係る和解及び損害を賠償すること	報告を受けた
議案第1号	総社市国民保護協議会条例の一部改正について	原案可決
議案第2号	モーターボート競走の施行について	原案可決
議案第3号	総社市職員の服務の宣誓に関する条例及び総社市学校職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第4号	総社市印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第5号	総社市介護保険条例の一部改正について	原案可決
議案第6号	字の区域及び名称の変更について	原案可決
議案第7号	総社市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の一部改正について	原案可決
議案第8号	総社市手数料条例の一部改正について	原案可決
議案第9号	総社市営住宅管理条例の一部改正について	原案可決
議案第10号	総社市給水条例の一部改正について	原案可決
議案第11号	総社市水道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第12号	令和元年度総社市一般会計補正予算(第6号)	原案可決
議案第13号	令和元年度総社市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第14号	令和元年度総社市介護保険特別会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第15号	令和元年度総社市公共下水道事業費特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第16号	令和元年度総社市国民宿舎事業費特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第17号	令和元年度総社市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第18号	令和2年度総社市一般会計予算	原案可決
議案第19号	令和2年度総社市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第20号	令和2年度総社市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第21号	令和2年度総社市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第22号	令和2年度総社市国民宿舎事業費特別会計予算	原案可決
議案第23号	令和2年度総社市水道事業会計予算	原案可決
議案第24号	令和2年度総社市工業用水道事業会計予算	原案可決
議案第25号	令和2年度総社市下水道事業会計予算	原案可決
議案第26号	市道の路線認定について	原案可決
議案第27号	市道の路線変更について	原案可決
議案第28号	市道の路線廃止について	原案可決
同意第1号	固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて	同意
同意第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて	同意
同意第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて	同意
同意第4号	固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて	同意
同意第5号	固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて	同意
同意第6号	教育長の任命に関する同意を求めることについて	同意
同意第7号	教育委員会委員の任命に関する同意を求めることについて	同意
同意第8号	教育委員会委員の任命に関する同意を求めることについて	同意
意見第1号	人権擁護委員の候補者の推薦に関する意見を求めることについて	推薦に同意
議案第29号	総社市新型インフルエンザ等対策条例の制定について	原案可決
議案第30号	令和元年度総社市一般会計補正予算(第7号)	原案可決
議案第31号	令和2年度総社市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
議案乙第1号	総社市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の制定について	原案可決

令和2年2月定例総社市議会で賛否の分かれた議案等に対する賛否状況

議案等	議員名																議決結果						
	山田雅徳	溝手宣良	三上周治	菅野哲也	三宅啓介	岡崎亨一	深見昌宏	小川進一	高谷幸男	小西義巳	難波正吾	小西利一	津神謙太郎	村木理英	頓宮美津子	赤澤康宏		名木田正昭	加藤保博	根馬和子	山口久子		
議案第2号	モーターボート競走の施行について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第18号	令和2年度総社市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

(凡例) ○：賛成 ×：賛成でない 退：退席 欠：欠席
・賛否の確認は、議長及び事務局職員の目視により行っています。・剣持堅吾議員は、議長のため採決には加わりません。

2月定例会市議会

一般質問

今回の一般質問は、感染症のリスク軽減及び感染症対策にかかる当局の市民対応を考慮し、質問時間を40分から20分として行いました。また、説明員の代理出席を認めました。

QRコードの掲載を始めました

市議会ホームページの一般質問の録画放送のページにアクセスできるQRコードを掲載しました。スマートフォンやタブレット端末の専用アプリで、ご覧になりたい議員のQRコードを読み取ると該当ページにアクセスできます。ぜひご活用ください。なお、通信料は自己負担となりますので、ご注意ください。



岡崎 亨一

問 県の新年度予算の防犯カメラ設置事業に市も追従するか
答 議会と相談して前向きに考えていきたい

問 岡山県は、平成26年からの3年間で1606台の防犯カメラを県内に設置した。市が設置した防犯カメラは、平成27年からの2年間でいくつあるのか。

市長 地域づくり協議会を通して自治会に設置された防犯カメラは2年間で32台だった。その32台を含んで市全体として、2年間で45台が設置された。防犯カメラの設置は、犯罪抑止の観点からも非常に有効だと考えている。

問 岡山県の新年度予算案で復活している防犯カメラ設置事業は、1台につき10万円の助成で予算総額は1300万円である。今回は通学路に限定されているが、本市に設置できる可能性はあるのか。

市長 守るといふ観点の軸足を強くしていきたい。これからは防犯にお金を使っていく。防犯カメラの設置事業は、議会とも相談して前向きに取り組んでいきたいと思っている。



加藤 保博

問 総社駅西口付近に街灯がない。安全面からどうするか
答 都市照明の一環として対応する

問 総社駅西口周辺の現状をどう把握しているか。
市長 狭くて暗いという印象がある。

問 特に北へ200mの間に街灯は一灯もない。東口一帯と大きな差があるがどうか。
市長 夜間の街灯についてはこの度改めて認識した。

問 この区間は溝口、西総社、門田の3町内が混在している。維持については町内間で解決できない。防犯灯としての役割も大きい。市として設置するべきと思うがどうか。
市長 西口も総社の玄関である。今後は西口周辺にも十分配慮したい。

問 新興住宅地について
市長 市外から転入する方には、町内会と地域づくり協議会が



街灯のない総社駅西口付近

問 連動した総社システムが理解されず問題が生じている。どう考えるか。
市長 人口増の地域のこれからの課題である。

問 総社システムのパンフレットを作り、転入時に周知してはどうか。
市長 分かりやすいものを早速に作成する。開発業者や宅建業者などにも協力を求める。



ユニバーサルデザインの遊具



頼宮 美津子

問 バリアフリー法の制定に伴い、障がいのあるなしに係らず全ての子どもが安心して遊べるユニバーサルデザインの遊具を備えたインクルーシブな公園の設置が望まれる。子どもにとって遊びは、自身の力を引き出し、人生の基礎を築き生涯にわたっていかせる大切な力となる。まずは一箇所でも設置できないか。
市長 今後老朽化した遊具も検討するうえで、長寿命化計画を策定し導入をしていく。

問 障がいのあるなしに係らず全ての子どもが安心して遊べるユニバーサルデザインの遊具を備えたインクルーシブな公園の設置が望まれる。子どもにとって遊びは、自身の力を引き出し、人生の基礎を築き生涯にわたっていかせる大切な力となる。まずは一箇所でも設置できないか。
市長 今後老朽化した遊具も検討するうえで、長寿命化計画を策定し導入をしていく。

問 障がいのあるなしに係らず全ての子どもが安心して遊べるユニバーサルデザインの遊具を備えたインクルーシブな公園の設置が望まれる。子どもにとって遊びは、自身の力を引き出し、人生の基礎を築き生涯にわたっていかせる大切な力となる。まずは一箇所でも設置できないか。
市長 今後老朽化した遊具も検討するうえで、長寿命化計画を策定し導入をしていく。

問 障がいのあるなしに係らず全ての子どもが安心して遊べるユニバーサルデザインの遊具を備えたインクルーシブな公園の設置が望まれる。子どもにとって遊びは、自身の力を引き出し、人生の基礎を築き生涯にわたっていかせる大切な力となる。まずは一箇所でも設置できないか。
市長 今後老朽化した遊具も検討するうえで、長寿命化計画を策定し導入をしていく。

問 障がいのあるなしに係らず全ての子どもが安心して遊べるユニバーサルデザインの遊具を備えたインクルーシブな公園の設置が望まれる。子どもにとって遊びは、自身の力を引き出し、人生の基礎を築き生涯にわたっていかせる大切な力となる。まずは一箇所でも設置できないか。
市長 今後老朽化した遊具も検討するうえで、長寿命化計画を策定し導入をしていく。

問 障がいのあるなしに係らず全ての子どもが安心して遊べるユニバーサルデザインの遊具を備えたインクルーシブな公園の設置が望まれる。子どもにとって遊びは、自身の力を引き出し、人生の基礎を築き生涯にわたっていかせる大切な力となる。まずは一箇所でも設置できないか。
市長 今後老朽化した遊具も検討するうえで、長寿命化計画を策定し導入をしていく。

問 不妊治療について
市長 女性のがん罹患率1位は乳がんであり、年々増加傾向にある。また若年のがん患者のために治療開始前に将来子どもを産む希望を叶えることができる妊孕性温存治療(卵子等の凍結保存)があるが、高額である。不妊治療の一環として治療費の助成は考えられないか。

問 不妊治療について
市長 女性のがん罹患率1位は乳がんであり、年々増加傾向にある。また若年のがん患者のために治療開始前に将来子どもを産む希望を叶えることができる妊孕性温存治療(卵子等の凍結保存)があるが、高額である。不妊治療の一環として治療費の助成は考えられないか。

問 不妊治療について
市長 女性のがん罹患率1位は乳がんであり、年々増加傾向にある。また若年のがん患者のために治療開始前に将来子どもを産む希望を叶えることができる妊孕性温存治療(卵子等の凍結保存)があるが、高額である。不妊治療の一環として治療費の助成は考えられないか。

問 不妊治療について
市長 女性のがん罹患率1位は乳がんであり、年々増加傾向にある。また若年のがん患者のために治療開始前に将来子どもを産む希望を叶えることができる妊孕性温存治療(卵子等の凍結保存)があるが、高額である。不妊治療の一環として治療費の助成は考えられないか。



山田 雅徳

新型コロナウイルス感染症対策・市民へのマスク無料配布について

問 2月に実施したマスク配布(1次配布・市民向け)は、どのように実施したのか。
保健福祉部次長 市役所窓口での配布6万枚、地域づくり協議会を通じて16万枚の配布を実施した。(合計22万枚)



問 町内会や自治会に加入していない市民をいかに守るか
答 今回のマスク配布の取組を検証し緊急時に備えたい

問 町内会などの地域組織に未加入の約3割の市民(約9千世帯)は、今回の支援策から取り残されていなかったか。
市長 これからの課題として、今回配布にご協力いただいた地域づくり協議会がどれだけ地域をカバーしていただいたのかを聞き、今後、未加入の市民に対し、どのように支援ができるのかを考察したい。
市政の情報発信、市民との情報共有への考え方について
問 ハザードマップや緊急時の市政情報を普段持ち歩くスマートフォンなどに対応させ、活用していく考えはあるか。
市長 これからの有事対応はパソコンよりも、スマートフォン対応やSNSなどの情報ツールが主軸になると考える。



小西 利一

問 感染症対策と対応についてはどうか
答 市民の生命を守ることを一番に考えて対策を取る

問 そうじゃ吉備路マラソン開催決定までの経緯と中止決定までの経緯はどうか。
市長 開催決定を決める時は、まだ感染症が全国に広がっていない中で関係各位と相談した結果、開催を決定した。しかし、その後の感染症の広がりが急速に進み、市民の生命を第一に考え中止を決定した。
問 市内で今、発熱や咳が続いている人(外国人含む)に対して具体的にどのような対策を取っているのか。
市長 緊急連絡(新型コロナウイルスの対応について)のビラを全戸に配布した。外国人に対しては5か国語で対応している。そして、やさしい日本語で説明も行っている。
問 学校関係で感染者が出た

ときの対応策はどうか。
教育長 感染者が出た場合は学校閉鎖となる。
問 学校が閉鎖となったときの児童、生徒の教育がおろそかになるので、インターネットを活用した授業ができるように取り組むべきではないか。
教育長 インターネット授業ができる環境の整備に向けて検討していく。
地域奉仕作業について
問 各地域で人手不足のため継続できない状況がある。今後どのように取り組むのか。
市長 全市的な問題と捉え、自由交付金の上乗せも検討していく。



新型コロナウイルス



萱野 哲也

問 総合教育会議の開催数はどのくらいか
答 平成27年4月と11月の2回

問 大津市のいじめ事件を機に平成27年教育委員会制度が変わり、市長も教育行政に携わるようになったが、教育委員会と連携が取れているのか。
教育長 市長と親睦を図りながら連携が取れている。
問 市長が教育行政に携わることのできる総合教育会議の内容と開催数はどうか。
市長 開催は2回で、内容は教育大綱の策定と第2次総合計画の策定のために意見交換を行った。

問 個別では教育長と親睦を図っているのかもしれないが総合教育会議では「教育の条件整備や児童・生徒の生命・身体の保護等緊急に講ずべき措置」とされているが、過去5年こうした事案がなかったのか。
市長 今後は総合教育会議を開催して方針決定をしていく。
問 文科省は教育大綱の期間を5年がめどとしている。5年目だが教育大綱の見直しはしないのか。
市長 あまり大きく大綱は変えるものではないと思っ



根馬 和子

問 市内の観光地を巡る一日バスツアーをしてはどうか
答 以前「吉備路巡りツアー」を計画したことがある

問 5代目山中教育長の任期が5月で終わる。6代目教育長に望むものは何か。
市長 過去の教育現場と比較せず、未来を標榜していく教育長を望む。
教育長 後任の教育長には申せないが、「現状維持は退化である。」と自分に言い聞かせている。
問 市内の多くの観光地を巡るバスツアーを計画してはどうか。
市長 以前「吉備路巡りツアー」とした観光ツアーを2回実施した。総社駅から鬼ノ城、吉備津、矢喰の岩を巡るものであり参加者は28名であった。また柿狩り体験も実施した。更なる工夫も必要と感じている。
問 駅から備中国分寺五重塔、全国最大規模の横穴式石室のこうもり塚、鬼ノ城、サンロード吉備路で温泉入浴、安産等を願う軽部神社、そして総社宮を巡るコースをPRしてはどうか。
市長 多くの史跡や文化財をSNSやインスタグラムで広報し観光客誘致をしていく。
問 本市はパンの製造出荷額

が岡山県下1位だ。最近では「パンたびすと」が増加している。これを観光にいかしてはどうか。
市長 サンロード吉備路周辺で5kmのランニングで、パンレースを2回して好評であった。また検討する。
農業振興について
問 鳥獣被害防止の防護柵を作る規程が「集落ぐるみで防護柵を」となっているが、この規定は、実態と乖離しているのではないか。
市長 「集落ぐるみ」としてはいるが、3名以上の申出があれば対応できる。県の補助金も活用できる。



小川進一

問 保育無償化の影響はあるのか。

市長 令和2年度の入所希望者は昨年と比較して95人増えている。働く人が増えているのが現状である。

問 1歳児と2歳児の保育需要は高いが状況はどうか。

市長 現在、待機児童が16名いるが、0歳児から2歳児が中心である。令和2年度の入所希望者499名の8割が0歳児から2歳児である。

問 無園児(認可外保育園園、または家庭保育)の状況は把握しているのか。

市長 1月現在、0歳児から5歳児は3621人いるが、そのうち認可保育所・幼稚園に通園している人が2564人いる。認可外保育所に12

問 保育所の新設の考えはどうか
答 保育所新設は、出生数をにらみながら考えていく

3人通っている。934名の方は家庭または他の施設で保育されていると思われる。

問 保育所の新設は考えないのか。

市長 ニーズがあるのはよく分かっているが、出生数をにらみながら考えていきたい。

問 保育士確保の方策はあるのか。

市長 本市でも潜在保育士のマッチング事業を行っている。

問 保育士の処遇改善策はあるのか。他市では処遇改善に積極的に取り組んでいるがどうか。

市長 人口が伸びていて、子育てに特化した本市であり、令和2年度の早い時期に処遇改善策を策定したい。



難波正吾

問 副市長就任についての決意
答 議会と力を合わせて市民のために頑張る

空き家の現状と対策について

問 平成26年当時2万6800戸のうち3500戸、約13%が空き家との調査結果がある。現状はどうか。また持ち主との連絡はどうか。改善しているのか。

総合政策部長 平成27年度の調査以降、空き家は現在1075戸あり、空き家バンクの登録は53件、そのうち18件が成約している。片付けにふりさと納税を活用し、空き家の有効な利活用と合わせて移住促進を促進している。



若者が起業
市の支援制度を活用してコーヒー店を開業



三宅啓介

行政報告について

問 新型コロナウイルスによる飲食業などの地元経済への影響調査とそのサポートが必要ではないか。

市長 大変深刻な影響が出ている。飲食業などの調査はまだなので速やかに行っていく。現時点でできるサポートは融資の利子補給、保証協会の保証料の補助などと考える。本市独自の更なる支援策も考えたいが、国による金融支援や雇用調整助成金などの支援が示されているので、その動向を見つつ市として更なる支援を行っていく。

産業部長 市内29社で現況調査をしたが大きな影響があり、サンロード吉備路では宿泊キャンセルが多数出ている。

問 新型コロナウイルスで影響のある中小企業を支援できないか
答 国の支援を確認しつつ、市としても全力で支援する

農業施策について

問 農業ビジョン(60の提言)の取組状況とチェック体制はどうなっているのか。

市長 42項目で実行しているが農業ビジョン策定以降、チェックをしていなかったため、今後はきちんと対応していく。

問 特産果樹などの都市部への売り込みを更に進めるべきと考えるがどう考えるか。

市長 総社の農産物の需要は都市部で大きいにある。JAと協調しつつ生産量を更に確保し、行政と生産者が更に協力し都市部へ売り込みたい。

問 新しい農業ビジョンの策定が必要ではないか。

市長 総社新農業会議を再び開き、これからの新しい農業ビジョンを策定したい。



溝手宣良

問 戦没者に対する市長の思いはどうか。

市長 国の礎であり、決して忘れてはならない存在だ。

問 市内に幾つの慰霊碑や忠魂碑といったものがあり、管理の状況はどうか。

保健福祉部次長 市内に21箇所あり、うち19箇所が管理者不明になっている。

問 今後それらの管理をどうしていく予定か。

市長 維持管理費を市がある程度負担することも視野に入れながら、まずは遺族会の方々をはじめ、地元の方々と相談し、検討していきたい。

LRT化について

問 LRT化を推進する理由は何か。
市長 吉備線沿線は農業振興

問 戦没者慰霊碑・忠魂碑等についてどのように考えるか
答 とても大切なものだと考えている

地域ばかりで開発が全くされていない。今後の総社市を考えて新駅を作り、発展につなげていきたい。

問 観光面等も視野に入れ、あらゆる可能性を潰さないよう最適化を図るべきと考えるがどうか。

市長 しっかりと検討していく。

観光について

問 吉備路自転車道を活用し、新たなルートを考えて、新設中の仮称雪舟公園や、市内に多く点在する名所や西部地域へも誘導したり、電動アシスト自転車やタンDEM自転車も導入してはどうか。

市長 いわゆる行政的な前向きでなく、本当に前向きに検討したいと思う。



三上 周治

問 感染症対策の基本方針と予防対策はどうするのか

答 新型コロナウイルス対策室を設置して対応する

問 今回の事態を警戒レベルで表すと思うか。

市長 レベル5だと思う。

問 AMDA(アムダ)との連携は考えられないか。

市長 今は吉備医師会と話し合っている。前提には保健所の指導で対応する。市民を守るため医療機関等の条件を整えばAMDA(アムダ)に力を貸してもらいたい。

問 本市で感染者が確認された場合、内容はどの程度まで公表するのか。

市長 保健所が管理することだが市民を守るためなら言わざるを得ないこともある。

問 公共施設や教育施設ではどのような対応をするのか。

保健福祉部次長 保健所と連絡を密にし施設の閉鎖もある。

問 公共施設以外への対応はどうするのか。

市長 公共施設以外でも密閉する場所等はこれから考えて早急に対応していきたい。

問 イベント等の延期や中止は考えるのか。

市長 今後2週間は大規模イベントの延期・規模縮小を市民に伝えていく。

総社市災害救助支援条例について

問 新たな政策が必要と思うかどうか。

市長 予算も関係するが、柔軟な条例は持っていた方が良くと思う。

問 新たな経済対策も必要と思うかどうか。

市長 政府の対応策が出てきたときに対応する。



村木 理英

問 地元事業者を参画させた公有財産活用の考えはないか

答 可能であると考えられる活用できるものは活用する

問 井尻野幼稚園跡地を官民連携事業(以下、PPP)で防災拠点施設にする考えはどうか。

市長 調整区域なので制限がある地域だと認識している。

問 調整区域であれば、医療福祉、教育、農業施設、倉庫、公営住宅等の併設が考えられるが、どうか。

市長 仮に倉庫だとすると、倉庫の借り手がいるかどうか、見通しが立たない面があると思う。

問 地元のニーズ、マーケティングを調査して、総社市内に今までにない画期的なものを提案すべきと考えるが、どうか。

市長 地元の意向を調査する必要性を感じる。



▲閉園から約1年間、放置されている井尻野幼稚園跡地

『PPP』とは?
Public Private Partnershipの略。行政と民間が連携して、それぞれお互いの強みを生かすことによって最適な公共サービスの提供を実現し、地域の価値や住民満足度の最大化を図るもの。

問 合併特例債制度終了後、公共施設の新設はPPP等、新しい予算制度を活用する必要性を感じるが、どうか。

市長 活用できるものを選んでいきたい。



高谷 幸男

問 今後画聖「雪舟」をどのように顕彰する考えか

答 各種事業も実施しているがさらに発信し顕彰したい

問 今年秋完成する雪舟生誕地公園の具体的内容はどのように周知徹底を図るのか。

市長 早目に広く市民に知らしめたいと考えている。

総合政策部長 顕彰ゾーンと多目的広場ゾーンに区分し、内外にも十分PRしたい。

問 昨年10月山口県で若き雪舟の作品が発見されたが、作品の発掘調査はできないか。

市長 国宝6点、重文19点をはじめとする作品があるが、多くの協力を得て調査したい。

問 亡くなった日は諸説あるものの生誕600年の節目に慰霊祭の開催をどう考えるか。

市長 生誕地であり、慰霊祭ではなく、公園の完成と合わせて何かの方法で慰霊したい。

問 世界10大文化人の一人と

して外国で切手に採用されるなど、今後の顕彰はどうか。

市長 事業は色々あるが、行政として発信し顕彰したい。

古墳について

問 市内に点在する多くの古墳とどのように取り組むのか。

市長 確認済800基の古墳をどう活用するか検討したい。

問 国の史跡である作山古墳の発掘調査はできないか。

市長 10億円とも想定される調査費は難しいが、どのような調査が可能か検討したい。

問 近時発見の小山古墳は現状保存が必要ではないか。

市長 協力を得て用地を取得し、現状保存としたい。

産業部長 円墳か帆立貝形前方後円墳か非常に貴重な古墳であるものと理解している。



住民目線で新庁舎建設を！ 新庁舎建設調査特別委員会を設置

今後予定されている市役所の新庁舎建設について調査するため令和元年12月20日に特別委員会を設置しました。新庁舎建設に係る計画、設計、予算、議会フロアの在り方等を調査します。合わせて、より詳細に調査するため新庁舎建設に関する小委員会も設置しています。3月までに特別委員会は2回、小委員会は5回開催し調査しています。

行政視察報告

- 議会運営委員会 令和2年1月27日~28日
 - ・議会改革全般について
 - ・議会フロアの整備について
 - ・委員会や全員協議会の中継等について(熊本県玉名市、鹿児島県出水市)
- 総務生活委員会 令和2年2月6日~7日
 - ・地域住民主体で運行しているコミュニティタクシーについて(山口県山口市)
 - ・地区防災計画について(熊本県熊本市)
- 文教福祉委員会 令和2年1月22日~23日
 - ・放課後事業(放課後児童クラブ、放課後子供教室)の一体的な運用について(愛知県東海市)
 - ・新BOP事業の取組について(東京都世田谷区)
 - ※BOP(ポップ)…Base Of Playing(ベース オブ プレイング)の略で「遊びの基地」の意
- 産業建設委員会 令和2年2月6日~7日
 - ・ふれあい農業公園の整備について(愛知県春日井市)
 - ・斎場「おりづるの森」について(三重県桑名市)

総務生活委員会

当委員会で審査した案件は、2月定例会では議案16件であり、全て原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

●令和元年度総社市一般会計補正予算(第6号)(議案第12号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

・子育て王国そうじゃ基金積立金、地域振興基金積立金の増額

問 雪舟像等製作委託料1100万円について、どのような銅像を考えているのか。

答 大人の雪舟が立った銅像で、3m前後の高さのものを考えている。

●一般会計予算審査特別委員会総務生活分科会

◎令和2年度一般会計予算(議案第18号)(所管部分)

問 総社市新生活交通運行委託料の増額の理由は何か。運行日、運行時間等について何

らかの改正をするのか。

答 雪舟くんの運行委託料は、車両の借上料を基に事業者と協議を行っており、岡山県内のタクシーの運賃改定があり、借上料が約17%上がることから金額を増額している。運行日や運行時間帯、運行台数については、事業者と協議中である。

問 復興イベント負担金100万円について内容がどうか。

答 大阪の歌手の団体から提案があり、テーマ曲を決めて、2、3回歌のレッスンをし、被災地の方々と一緒に会場で歌うものを予定している。被災された方々と語り合ったり、心を寄り添わせて歌ったり、交流によって感動や幸せを提供するものである。

問 2億5000万円のはしご付消防自動車の概要はどうか。

答 車体については10トン車級のもの、塔については30メートル級、装備については

最新鋭のもので、資機材については高所作業で必要なものを考えている。

文教福祉委員会

当委員会で審査した案件は、2月定例会では議案10件であり、全て原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

●総社市介護保険条例の一部改正について(議案第5号)

・介護認定審査会委員の定数を25人以内から54人以内にするもの

問 介護認定審査会委員の数を約2倍とする理由はどうか。

答 介護保険の認定申請件数が増えており、平成30年度が2628件で、審査会を86回行っている。令和元年度が3500件を超える見込みで、審査会も110回程度になる見込みである。今の人数では無理があるため人数を増やそうとするものである。

●総社市新型インフルエンザ等対策条例の制定について(議案第29号)

・新型インフルエンザ等の対策を強化するため条例を制定しようとするもの

問 新型インフルエンザ等の対策は国の特別措置法があるのに、なぜ市が条例を制定しなければならないのか。

答 関係機関と連携して、迅速かつ的確に対応するため必要とされている。感染症は麻疹なども含まれるが、新型インフルエンザ、新感染症、指定感染症の3点に絞り込んで対応しようとするものである。

問 この条例を最終日に上程するほどのスピード感がなかったのか。十分な検討がなされたのか。

答 大卒の支援の根拠を示し、市民の安心安全のため制定しようとするもので、感染拡大期の対応を迅速にするため必要と考えた。非常に重要なことなので、運用にあたっては、

議会とよく相談しながらやっていきたい。

●令和2年度総社市一般会計補正予算(第1号)(議案第31号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

・特別外来診療等負担金の増額

問 特別外来診療等負担金500万円は医療機関への支援か。

答 具体的には、電話相談や患者を診てもらうことに対する負担金で、吉備医師会や医療機関を想定している。

●一般会計予算審査特別委員会文教福祉分科会

◎令和2年度一般会計予算(議案第18号)(所管部分)

問 通学路の安全対策において、要望件数に対して何割程度対応できているのか。優先順位をつけて計画的な実施が必要だがどうか。

答 平成30年度以降の要望件数は、市が対応するもの、県が対応するもの、国が対応するもの、警察が対応するもの、

すべて合わせると157件であり、対応できているのは約37%である。計画的に実施していかなければならないと考えている。

産業建設委員会

当委員会で審査した案件は、2月定例会では議案19件であり、全て原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

●令和2年度総社市国民宿舎事業費特別会計予算(議案第22号)

問 営業収入について、令和元年度の見込みをベースに計上しているとのことだが、2月、3月の状況はどうか。

答 コロナウイルスの影響が開始したのは、2月27日に政府が学校休校及び外出自粛の要請をした頃からである。3月は2700人の利用を見込んでいたが900人程度の利用となる見込みである。宴会

は3月中旬まではすべてキャンセルされ、ビュッフェ形式をとっていたランチは3月5日から休止している。

●令和2年度総社市一般会計補正予算(第1号)(議案第31号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

・新型コロナウイルス感染症対応融資支援補助金の増額

問 国にも感染症に対する緊急支援制度があるが、これとは別のものか。

答 国の制度では恩恵が受けられない事業者に対して同等の負担軽減が図れるよう市の制度を設けるものである。

問 600万円の予算では30万円20件の想定となるが、申請者が20件を超えた場合はどうするのか。

答 今後影響が拡大した場合、追加で予算措置を行いたい。

●一般会計予算審査特別委員会産業建設分科会

◎令和2年度一般会計予算(議案第18号)(所管部分)

問 住宅災害復旧等資金利子補給金の申込状況はどうか。

答 今年度の申込状況は21件となっている。仮設住宅の供与期間の延長に伴い、県が申請期間の延長を検討しており、延長となればいくらか増えていくものと考えている。

「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。

支出区分	支出年月日	支出金額	支出先等
お供え	1/10	5,000	代表監査委員の奥母香典
議長賞	2/5	20,000	総社市長杯卓球大会
土産等	1/14	6,820	行政視察先(文教福祉委員会)
	1/19	6,710	行政視察先(議会運営委員会)
	1/31	7,396	行政視察先(総務生活委員会)
	1/31	7,506	行政視察先(産業建設委員会)
4月からの累計	-	155,549	-

議長交際費執行状況

〔令和2年1～3月分〕

復興に向けて・その軌跡 (vol.6)

安心・安全へ、一歩ずつ進む

広聴広報委員会では、定期的に被災地の現状や被災された方々の現況を確認するため、市内一円を視察したり、訪問したりしています。

多くの皆さんも高梁川の堤防から伐採が進む現場を見られたと思いますが、大変な量の樹木が河川敷内に置かれています。伐採作業で大量にでた樹木のほとんどが産業廃棄物として処理されているそうです。

今回の視察では、少しずつですが樹木のない河川の景色が見えてきました。安心安全へ一歩ずつですが進んでいるのだと感じました。これからも、広聴広報委員会ではその軌跡を見守り続けていきたいと思っています。

(三上周治)



高梁川河川敷に積まれた大量の樹木(秦地区)



伐採が完了しつつある高梁川(川辺橋付近)



大型重機により伐採作業が進む高梁川(川辺橋付近)

編集後記

中国武漢市に端を発した新型コロナウイルス感染症が発生しました。急激な勢いで感染者数が増加し、世界各国に広がっています。

人生100年と言われる時代、想像もしないことが起こる時代でもあります。これからの対策・対応が非常に大事になってくると思います。市民の皆様も日頃から、適切な情報収集と予防を心がけていただきたいと思います。

平成30年の西日本豪雨災害は目に見えた災害でしたが、感染症はそれに匹敵する災害だと思えます。議会としてもチーム議会として、行政をサポートしながら市民の安心安全のため活動していきます。

(三上周治)

◆広聴広報委員会のメンバーは次のとおりです。

- 委員長 赤澤 康宏
- 副委員長 三上 周治
- 委員 山田 雅徳
- 委員 溝手 宣良
- 委員 三宅 啓介
- 委員 岡崎 亨一
- 委員 頓宮美津子